

Oh!Me

インターネットと連動した
【滋賀生活情報紙】

MAINICHI

新毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

滋賀ガイド www.gaido.jp

vol.499・1月23日号 毎週木曜発行 **4面にプレゼント情報!**

●Oh!Me 編集室/株式会社ヤマブラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603 発行部数:100,000部
●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

自由な即興演奏が魅力のジャズ。その演奏を豊かな低音で操り、リズムとメロディーの両面からリードするのがジャズベースだ。高木遊馬さんは、ロックに夢中になっていた少年時代から一転、20歳でジャズベーシストに転向。独学で勉強しながらアメリカで武者修行を積んできた。2月7日、湖国デビューとなる「ヴァレンタイン・ジャズ・ライブ」(しがぎんホール)でジャズベースの魅力余すところなく披露する。

素敵な人



ジャズベーシスト
高木遊馬さん
(高島市出身・28歳)

アメリカ仕込みの演奏で ジャズベースの魅力を伝える

ロックにはない自由さ

14歳のとき、兄の影響でエレキベースを始め、同級生とパンクロックのコピーバンドを結成。ロックにどっぷりとかかっていた。

ジャズに出合ったのはその3年後。友人に誘われて行ったライブハウス「ジャズブレースねこ」(大津市)でのライブだった。笑顔で楽しそうに演奏し、楽器同士が即興・掛け合いで音楽を作っていく中、自然に体がリズムを刻み、会場が一つになっていく。自分がやっていたロックのコピー演奏とは大きく違った。

ジャズの魅力を一言でいえば「自由」。和音などの最小限の約束ごとに沿って、それぞれの楽器の演奏者が自由に音楽を創り上げていく。

中でもベースはメロディとリズムの両方を受け持ち、バンドの「要」として音を組み立てて音楽を創り出していく。しかも和音も出せる。衝撃を受けた。

さらにこの感動は、父が持っていたジャズベース奏者、ジャコ・パストリアスのMDを聴いて決定的なものになった。

「こんなにレベルの高い人と一緒に演奏してみたい！」

強い思いが日増しに大きくなり、ジャズの理論書を読みあさり、

練習を重ねた。ミュージシャンが自由に曲を創っていくジャムセッションにも参加して刺激を受けた。

エレキからウッドへ

ジャズライブを初めて聞いた日の感動が忘れられず、主催していたジャズトランペッターの濱田博行さんに思い切って会いに行った。



「ニューヨークはレベルが高い。若いうちにいったほうがいいよ」とアドバイスを受け、早速渡米。ニューオーリンズに1カ月間滞在し、現地のミュージシャンとセッションを重ねた。

このときウッドベースの深い低音に魅せられ、エレキベースからウッドベースに転向。チェロのように弓を使って音が出せるのが魅力だった。しかし、正確な音を出すには訓練が必要で、約1年ほどを要した。

24歳のとき、今度は知人のつてを頼ってついにニューヨークへ。そこで想像以上のレベルに驚かされた。セッションで、普通あるはずの譜面が無かったの

だ。その訳を聞いてみると、膨大な量の曲を全て記憶し、アレンジしながら音楽を創っていくのだと教えても

らい言葉が出なかった。もたもたしていると他の奏者がすぐに割り込んで、弾き出されてしまう。

悔しい思いをしながら、知らない曲は1日で覚えるように努力し、毎晩セッションに参加。努力の甲斐あって2、3カ月ほどすると徐々に仕事が増えてきた。

滋賀でライブの感動を

日本に帰国後、東京都内を中心に横浜、千葉、埼玉でのライブ、セッションホストなど幅広く活動してきた。2月7日には大津市のしがぎんホールで「ヴァレンタイン・ジャズ・ライブ」に出演する。

「お世話になった濱田さんや、日本の若手トップボーカリストとして人気と注目を集めるマヤ・ハッチさんなど、素晴らしい方々との共演が楽しみです。お客様にも、私が初めてジャズライブに行ったときのような感動を1人でも多く味わっていただければと思っています」(取材・鎌山)

ヴァレンタイン・ジャズ・ライブ **2/7 (金)**

●場所:しがぎんホール(大津市浜町1-38)
●開演:18:30 ●料金:一般3,500円 学生2,000円

問い合わせ **しがぎん経済文化センター**
●077-526-0011(平日9:30~17:00)

滋賀生活情報紙「Oh!Me」はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。毎日新聞のご購読お申し込みはフリーダイヤル **0120-468-012**

平成25年度 県民企画提案事業

能楽鑑賞

能装束着付実演と能『羽衣』

2月9日(日)
13時開演

好評発売中

【第1部】●愛荘町子ども能楽教室
●滋賀県立大学能楽部
●滋賀能楽文化を育てる会等による謡仕舞発表、能面解説

【第2部】●観世流能楽師による「着付実演」
●能舞台、シワ、テキ、地謡、お囃子等の解説

【第3部】●能『羽衣』実演
出演 観世流能楽師 浦部好弘、浦部幸裕 他

滋賀県立文化産業交流会館 小劇場
●前売 1,500円 ●当日 2,000円
全席自由



「羽衣」浦部幸裕・牛窓雅之撮影

プレイガイド/滋賀県立文化産業交流会館、しが県民芸術創造館、ハーティーセンター楽荘



※やむを得ない事情により出演者、演目、新作発表の内容が変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

2/23(日) 14:00開演 13:30開場
日野町町民会館 わたむきホール虹
(藤生郡日野町大字松尾1681)
☎0748-53-3233
【演目】古・典:「二人太夫」「梅娘り」 新作狂言:「安土城ひみつ会議」



3/2(日) 14:00開演 13:30開場
愛荘町立 ハーティーセンター楽荘
(愛知郡愛荘町安孫子822)
☎0749-37-4110
【演目】古・典:「観大目」「梅娘り」 新作狂言:「安土城ひみつ会議」

3/9(日) 14:00開演 13:30開場
彦根市みずほ文化センター
(彦根市田原町11)
☎0749-43-8111
【演目】古・典:「観大目」「梅娘り」 新作狂言:「安土城ひみつ会議」

3/23(日) 14:00開演 13:30開場
東近江市てんびんの里 文化学習センター
(東近江市五箇荘電田町583)
☎0748-48-7100
【演目】古・典:「観大目」「梅娘り」 新作狂言:「安土城ひみつ会議」

お問合せ **滋賀県立文化産業交流会館** tel.0749-52-5111 〒521-0016 米原市下多良2-137 ©JR米原駅下車西口より徒歩5分 <http://www.shiga-bunshin.or.jp/bunsan>